

平成30年度第3回尼崎市文化財保護審議会会議録要旨

1 日 時

平成31年2月22日(金) 午後2時00分～4時00分

2 場 所

尼崎市総合文化センター 3階 会議室 他

3 出席委員

出席委員	委員 長	馬 田	綾 子
	副 委 員 長	大 場	修
	委 員	川 口	宏 海
	委 員	長 谷	洋 一
欠席委員	委 員	伊 達	仁 美

4 出席した事務局職員

教育長	松 本	眞
社会教育部長	牧	直 宏
歴博・文化財担当課長	楞 野	一 裕
歴博・文化財担当係長	桃 谷	和 則
歴博・文化財担当主任	室 谷	公 一
歴博・文化財担当技術員	高 梨	政 大

5 開 会

司会進行 楞野課長
挨拶 松本教育長

6 議 事 等

議事1 「平成30年度尼崎市指定文化財候補物件の答申について」

(1) 東園田遺跡出土 イイダコ壺

- ・ 同時期のイイダコ壺について、これだけの量がまとまって出土することは珍しい。100個前後の単位でまとまって置かれ、実際に使用される状況が分かるような状況であること、その中に絵画土器が1点含まれるのは珍しく、面白い資料。ほとんど使用痕がないことなどから、学問的にも非常に価値があり、全国的にも珍しい例。弥生時代中期のイイダコ壺の例として、古い時期に当たり、イイダコ壺の指標、モデルにもなりうる資料であると考えられる。
- ・ 答申文案にある法量は、絵画が施されているイイダコ壺1点の法量を記載。
- ・ 490個のリストアップはまだできていないので、今後作成していき、法量については別添資料として付け加える。
- ・ イイダコ壺は一般的な土器の作り方であり、特に触れる必要はない。絵画土器について詳しい表現がされており、資料的価値を代表している。
- ・ これまでのイイダコ壺の出土状況をみると、同時期に使われたいろいろな形のイイダコ壺が出土し、使い方、作り方を解明するうえで貴重な資料になる。
- ・ 土器としてイイダコ壺の製作事例が比較検討できるという意味で貴重な資料である。

- ・ 出土状況写真に黒い線が引かれているのは、繋がれていた想定ラインである。
- ・ 写真については、参考資料として添付するものであるが、「グループ内の繋がりの想定」としてキャプションを補う。

(2) 享保元年尼崎城堀浚願図

- ・ 2点の城絵図とも幕府に提出する際の原因ないしは控図ということで、紙質が鳥の子紙であるということも含めて、共通する性格が強い。尼崎城絵図の全体のバランスの中でどの絵図を指定すべきものなのか判断できるようにしたい。今後指定していくべき城絵図の中でも、今回の候補物件は妥当なものである。
- ・ 安永7年絵図は折りたたんで袋に入っている状態であることから「舗」、享保元年絵図は仮巻装として軸巻にした一枚物であることから「枚」という単位にしている。
- ・ 時代としては、名称の中に年代が記されているので、これ以上の書き方をする必要はない。
- ・ 基本的に元の資料名をそのまま付けているが、正確な年代が分からないものが多いことから、年代記載の無いものが多い。
- ・ これだけの絵図資料が残っているのは壮観で、今後もまだ出てくる可能性が非常に高い。
- ・ 古美術の市場にも出てくることがあるが、伝来不明な場合が多い。
- ・ 今回の指定をきっかけに、新たな城絵図の情報が寄せられることも期待できる。
- ・ 「尼崎城修復関係年表」にある通り、細かな事実関係が通時的に分かる。
- ・ 城を維持するということは大変なことだということが改めて分かる。過程もよく分かる非常に面白い資料。

(3) 安永七年尼崎城石垣櫓修補願図

- ・ かなり具体的に書かれているということと、幕府との交渉経過が絵図を比較することによって明らかになるということが、この絵図の資料的価値のメインである。
- ・ 安永6年の城絵図は、藩政文書の中の城関係絵図として一括指定した中に含まれるものである。
- ・ 幕府に提出した清絵図は、ほとんどが焼失したといわれ、提出と同時に作られた控図あるいは原因が最も正式な絵図に近いものといえる。

以上の質疑や議論を踏まえ、「東園田遺跡出土 イイダコ壺」、「享保元年尼崎城堀浚願図」、「安永七年尼崎城石垣櫓修補願図」について尼崎市指定文化財の答申文として諮ったところ、全委員の了承が得られ、答申を提出することとなった。

その後、委員長より教育長へ上記3件を本年度の尼崎市指定文化財とするよう答申文が手渡された。

報告1 「最近の文化財保護行政について」

- ・ 平成31年度文化財保護啓発事業のうち、事務局からドキ・土器ふれあい講座での授業内容、今年度実績等について説明。

- ・ 富松城跡の保存・活用における現在の状況、地元との関係について現状と、市民グループと連携して行った活動内容について報告。
- ・ 台風21号により被害を受けた文化財の内、県指定文化財の長遠寺庫裏・客殿、国指定文化財の同寺本堂の修復工事について報告。

報告2「その他」

- ・ これから尼崎市立文化財収蔵庫出張企画展「尼崎史を彩る人びと」を開催中で、視察を行う旨報告。展示で取り上げられている村野藤吾について、迎賓館の改修が村野の設計によるものであることを回答。

その後、会場を4階展示室に変更して視察を行い、審議を終了。

以 上